

## 1. 今日の学校教育が直面している課題

子どもたちの多様化

少子化・人口減少の影響

家庭・地域の教育力の低下

情報化への対応の遅れ

教師の長時間労働

生徒の学習意欲の低下

感染症への対応

etc



## 2. 国における動き

- 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）

**令和3年1月26日（火）** 中央教育審議会（第127回総会）において、取りまとめられたもの。

2020年代を通じて実現を目指す新しい時代を見据えた学校教育を「令和の日本型学校教育」とし、その姿を「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」とした。



### 「令和の日本型学校教育」を推進する地方教育行政の充実にに向けた国の動き

中央教育審議会における初等中等教育分科会や様々な検討会議で議論が進められている。

（例）令和3年7月8日（木）中央教育審議会初等中等教育分科会（第131回）の開催

#### ● 検討事項

- ① 社会の変化に素早く的確に対応するための方策
- ② 新型コロナウイルス感染症事案等を踏まえた機動的、自律的な学校運営を支援するための方策
- ③ 平成26年地方教育行政法改正の施行状況を踏まえた首長部局との効果的な連携のための方策
- ④ 年少人口減少とデジタル化を踏まえた広域行政の推進のための方策

（例）令和3年7月21日（水）義務教育9年間を見通した指導体制の在り方等に関する検討会議（第4回）の開催

#### ● 検討事項

- ① 優先的に専科指導の対象とすべき教科について
- ② 専科指導の専門性を担保する方策について
- ③ 学校規模や地理的条件に応じた教職員配置の在り方について
- ④ その他教職員定数の確保の在り方について